

ドイツ連邦共和国バイエルン州 マインブルク市

ミュンヘンから約60km北に位置し、面積は61.7km²と守谷市の倍近くの大きさです。マインブルク市が位置するハラタウ地方は、世界でも有数のホップの栽培地です。ハラタウ地方の特徴はホップの畑だけでなく、森や農地の間に小さい集落が点在する、緑豊かで緩やかな丘からできた地形です。

マインブルク市の魅力のひとつは、古い市街地が持つ独特の雰囲気です。装飾の綺麗な建物や様々な教会が並ぶ様子は、居心地の良い空間を作り出しています。

サルヴァドル教会がある緑豊かな丘からは、街全体が良く見渡せ、教会の塔はマインブルク市のシンボルにもなっています。

姉妹都市交流

1988年にヨーロッパ視察を計画していた県南議員団（当時の町長、町議会議員ら）のもとに、守谷市に工場を持つアサヒビールからホップの輸入で縁のあるマインブルク市を訪れてほしいとの依頼があったことを受けて訪問しました。

守谷町からの訪問団は現地で盛大な歓迎を受け、地元の新聞でも盛大に報じられました。その後定期的な手紙のやり取りが続く関係となり、1990年11月3日に守谷市国際交流研修センターで

姉妹都市宣言（調印）が行われ、当時の守谷町初の姉妹都市となりました。



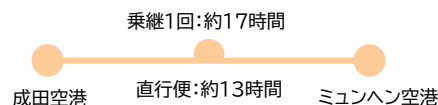
締結当時の大和田町長とエッガー市長



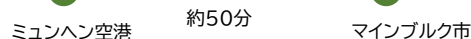
アクセス



飛行機で



車で



問合せ先

守谷市役所 生活経済部 市民協働推進課

〒302-0198

茨城県守谷市大柏950-1

☎ 0297-45-1111

✉ kyoudou@city.moriya.ibaraki.jp



Instagram
moriya_kokusai



Twitter
@moriya_kokusai



青少年海外派遣

毎年夏に青少年海外派遣団（中高生）が姉妹都市であるドイツ・マインブルク市とアメリカ・グリーリー市を交互に訪問しています。

1990年から29回にわたり、守谷市内の中高生延べ450人を派遣しています。

現地で役立つ会話やマナーを学習しながら、団員同士の仲も深めていきます。



事前研修



ホームステイ

現地では、一般家庭に約1週間ホームステイ。団員は「お客様」ではなく、家族の一員として家事のお手伝いをしたり、一緒に買い物に行ったりと日常生活を体験します。



事後研修

帰国後は派遣の経験を振り返る事後研修を行います。団員の経験を今後に繋げ、市の国際交流への参加・ホストファミリーとの交流を継続していくための大切な研修です。



学生訪問団来市

隔年でドイツ・マインブルク市は8月に、アメリカ・グリーリー市は6月に15～20人の訪問団が約1週間守谷市に来市しています。

訪問団は滞在中、守谷市内の一般家庭にホームステイします。



受入家庭事前説明会

訪問団の受入が決定した家庭に、ホームステイ受入の心得などを説明し、マッチング結果を発表します。来市までの間、訪問団員とメールなどで事前に連絡を取り合ってもらいます。



ホームステイ受入

滞在中は家族の一員として、日本の日常生活を味わってもらいます。団員は、平日は市のプログラムに参加します。休日には登山や東京観光、庭でBBQ、一緒にお菓子作りなど、受入家庭で思い出に過ごします。



マインブルク市役所



HP

<https://www.mainburg.de/>

Instagram

Stadt Mainburg
ID:stadt_mainburg



ヘルムート・フィヒトナー
Helmut Fichtner 市長



マインブルク市役所は、歴史ある教会や赤い屋根が立ち並ぶ旧市街にあります。また、市内には守谷市までの距離標や守谷市のシンボルマークが付いた時計台が設置されています。

「世界一」と称されるホップ



マインブルク市が位置するハラタウ地方は、世界でも有数のホップの栽培地です。姉妹都市締結当時、守谷市のアサヒビール株式会社茨城工場でも使用されていました。

教育施設



小学校2校、中学校2校、中高一貫校1校があります。守谷市が誕生した20年前には、中高一貫校の学生が来市し、タイムカプセルにメッセージを投函しました。